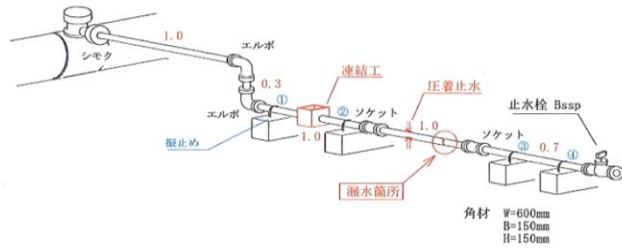
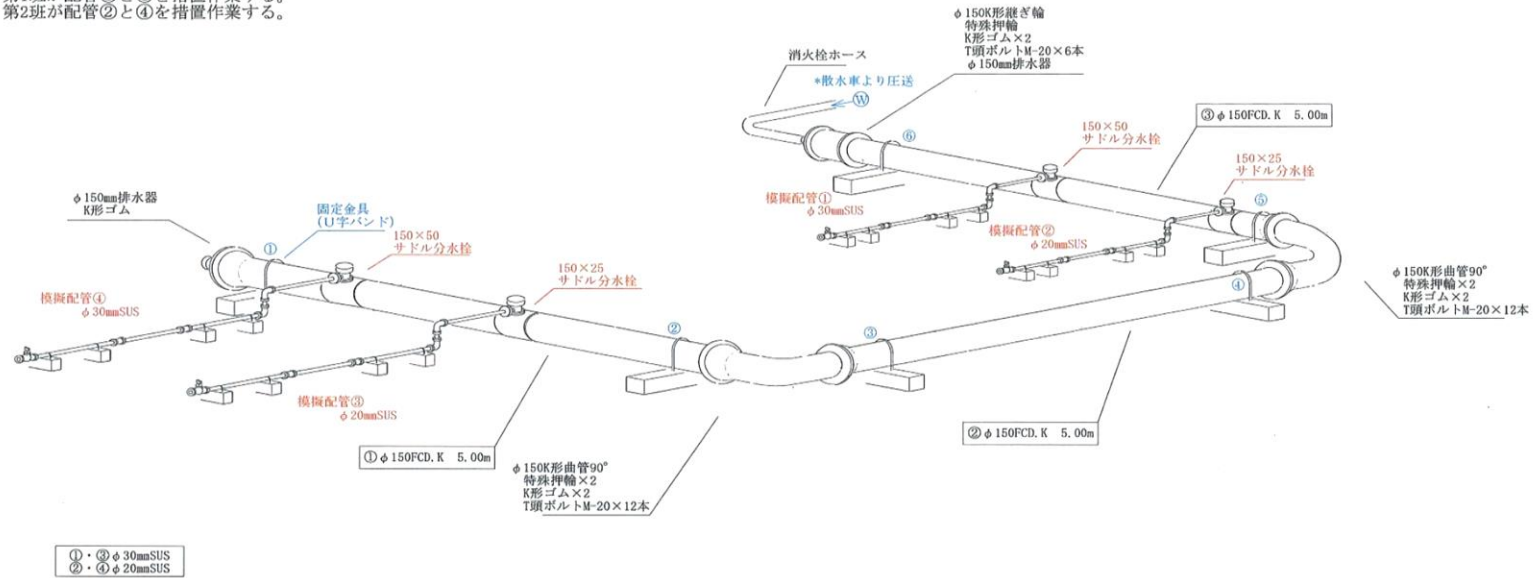


### 給水管応急措置訓練 ①～④

\* 第1班が配管①と③を措置作業する。  
第2班が配管②と④を措置作業する。



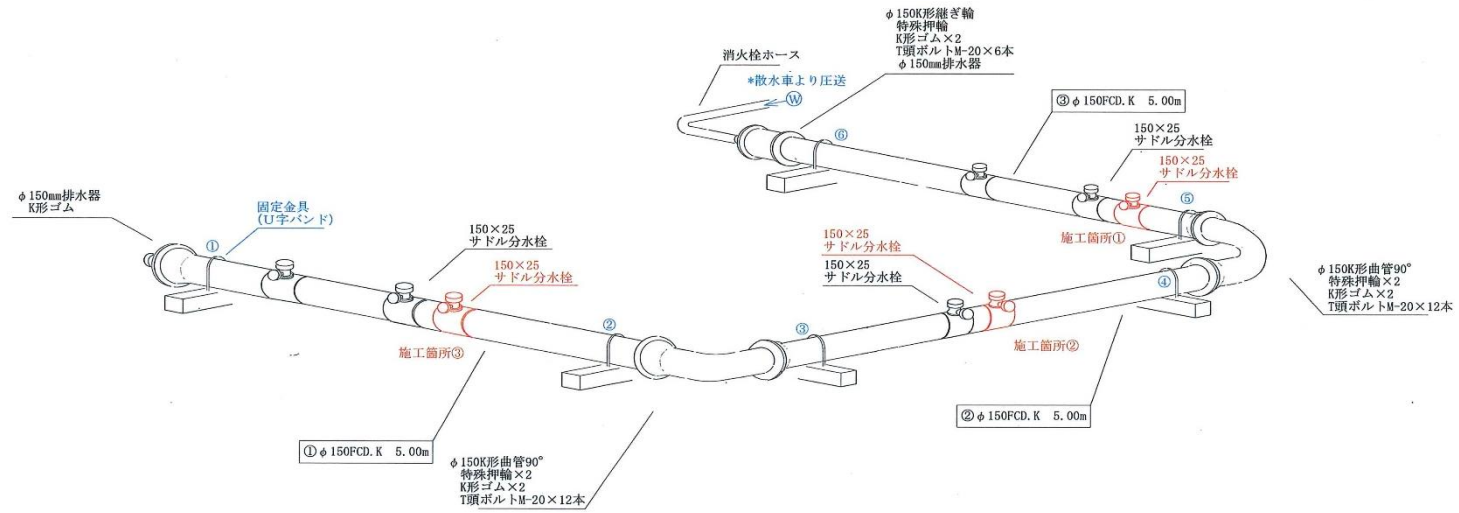
#### 訓練作業内容

\* 震災等により給水管が破損した事を想定した措置訓練

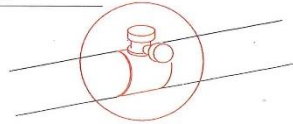
1. 漏水しているステンレス管の手前側を圧着機を使用し止水する。
2. -196℃の液体窒素を使用し止水された給水管を凍結させる。
3. 給水管表面に凍結作業による霜の付着を確認した後、手前側のソケットを緩め止水を確認する。
4. 漏水箇所の手前側と奥側のソケットを緩め新しいステンレス管に取り替える。
5. ステンレス管の凍結している部分を解凍し止水栓を操作し通水確認をする。
6. 再度配管の確認をした後、作業完了とする。

\* 今回はSUS316を使用し給水管応急措置完了といたしましたが、現在は継ぎ手レスの波状ステンレス管を使用するのが一般的です。今後は波状ステンレス管の使用率を向上するべく努めてまいります。

配水小管応急措置訓練 ①～③



施工箇所①～③  
150×25のサドル分水栓の取付を  
緩めて漏水させ  
三割りバンドにて止水



訓練作業内容

\*震災等によりサドル分水栓が振動負圧等の影響を受けての破損をした想定での応急措置訓練  
(今回はサドル分水栓が密集して配管されている箇所を再現)

1. 漏水しているサドル分水栓の脇に止水用割り継ぎ輪をセットする。
2. サドル分水栓を素早く取り外し同時に割り継ぎ輪を横移動させ締め付けをし漏水箇所を閉塞する。  
\*サドル分水栓の周囲に障害となる物がなく一定の間隔がある場合は作業員の息を合わせサドル分水栓を横移動させると同時に割り継ぎ輪を横移動させ締め付けをし漏水箇所を閉塞する。
3. 再度配管の確認をした後、作業完了とする。